

推進方向 1

道徳教育の充実

道徳教育においては、人間尊重の精神と生命（いのち）に対する畏敬の念を前提に、社会の一員として求められるルールやマナーへの理解、規範意識などの醸成、人としてよりよく生きるために大切な道徳的価値の自覚や自分の生き方についての考えを深めることなどが求められます。

そのため、教育活動全体を通じて、発達段階に応じた学びの場を設定し、より高い価値観に基づいた見方や考え方を養う道徳教育の充実を図ることで、「ふるさと周南」に誇りと愛着をもつ心豊かな子どもを育てます。

これまでの取組と課題

発達段階に応じた学びの場を設定し、学校の教育活動全体を通じてより高い価値観に基づいた見方や考え方を養う道徳教育を行い、ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもの育成に取り組んでいます。

自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した一人の人間として、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする、道徳教育の充実に向け、道徳の授業づくりに関する研修会を実施してきました。

また、学校図書館司書・指導員と連携した学校図書館運営を進めることで、子どもたちの読書活動の充実に努めるとともに、家庭や地域、文化会館や美術博物館等との連携による、体験活動や本物の文化に触れる機会の充実を図ることで、学校における全ての教育活動を通じて、道徳教育を推進しようとする意識が一層高まってきました。

今後は、各学校が、子どもたちや地域の実態などを踏まえつつ、道徳教育の重点目標を明確にし、その目標の達成に向けた指導を、計画的・発展的に行うことが求められます。

◇ 対象施策 ◇

道徳的価値の自覚と自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を高める道徳の授業づくりを進めます。

◆ 重点事業 ◆

◎ 道徳的実践力を高める道徳の授業づくりの推進

道徳の時間において、児童生徒が道徳的価値^{*}についてより深く考えられるよう、発問や質の高い多様な指導方法を工夫するなどにより、道徳的価値の理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えをより深めることができる授業づくりを行います。

◎ **教育研究センターによる道徳の授業づくり研修会の実施**

教育研究センターが実施する研修会等を通して、児童生徒が、主体的に道徳的価値の理解を自分自身とのかかわり中で考え、多様な感じ方や、考え方と出会い交流する「考え、議論する道徳」の授業づくりを進めます。

◇ **対象施策** ◇

豊かな表現力や想像力を育成するため、学校図書館を有効活用し読書活動の充実を図ります。

◆ **重点事業** ◆

◎ **読書活動の充実**

学校図書館司書・指導員と連携した学校図書館運営を推進することにより、児童生徒の読書活動の充実を図ります。

◇ **対象施策** ◇

コミュニティ・スクール[※]の機能を生かしながら、充実感や達成感が得られる行事や体験活動の充実を図ります。

◆ **重点事業** ◆

◎ **コミュニティ・スクールの機能を生かした学校行事、体験活動等の充実**

道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるよう、地域と連携した学校行事や体験活動等の充実を図ります。

◇ **対象施策** ◇

文化会館や美術博物館等の積極的な活用により、本物の文化、芸術に触れる機会を拡充します。

◆ **重点事業** ◆

◎ **文化会館や美術博物館等との連携による心の教育の充実**

文化会館や美術博物館等との連携により、感動体験による心の教育の充実を図るとともに、「ふるさと周南」を愛する心を育てます。また、児童生徒の移動のための交通費を支援することにより、鑑賞の機会拡充に努めます。

☆ 成果指標・目標 ☆

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	備考
学校のきまりを守っていると思う児童生徒の割合	小学校 90.4% 中学校 97.1%	100%に近づける	全国学力・学習状況調査 (小学6年生・中学3年生対象) (文部科学省)
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小学校 95.0% 中学校 96.9%	100%に近づける	全国学力・学習状況調査 (小学6年生・中学3年生対象) (文部科学省)